

2023年3月期 第1四半期 決算のお知らせ

【単体】	経常利益	7億56百万円	(前年同期比	△1億48百万円)	
	四半期純利益	6億53百万円	(〃	△24百万円)
【連結】	経常利益	5億16百万円	(〃	△1億12百万円)
	親会社株主に帰属する四半期純利益	3億68百万円	(〃	+14百万円)

株式会社 秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、7月28日（木）、2023年3月期（2022年度）第1四半期の決算を発表いたしました。

1 損益（単体）

経常収益は、資金運用収益や株式等売却益の増加により、前年同期比44億19百万円増収の121億36百万円となりました。（増加率57.2%）

本業での利益を示す**コア業務純益**は、有価証券利息の増加による資金利益の増加や経費の減少により、13億94百万円増益の27億91百万円となりました。（増加率99.7%）

一方、**経常利益**は、コア業務純益の増加に加えて株式等関係損益は好転したものの、国債等債券損益が悪化したことにより、1億48百万円減益の7億56百万円となりました。（増加率△16.3%）

四半期純利益は24百万円減益の6億53百万円となりました。（増加率△3.5%）

国債等債券損益の悪化は、海外市場における金利急上昇の影響で評価が下落した外債等の売却を進めたことによるものです。残存部分についてもタイミングを計りながら入替え等を検討し、有価証券運用の収益性向上のため、資産構成の見直しを進めてまいります。

2 損益（連結）

経常収益は、前年同期比44億72百万円増収の131億44百万円となりました。（増加率51.5%）

経常利益は、1億12百万円減益の5億16百万円となりました。（増加率△17.8%）

親会社株主に帰属する四半期純利益は14百万円増益の3億68百万円となりました。（増加率3.9%）

連結損益の増減は、主に銀行単体の増減要因によるものです。ただし、親会社株主に帰属する四半期純利益については、子会社の利益が増加した要因により、単体とは異なり前年同期比増益となりました。

詳細につきましては決算短信をご参照ください。